



認知症看護認定看護師のしごと



認知症看護認定看護師とは

認知症について、専門の教育機関で深く学び、資格を取得します。認知症看護の現場で、高い専門性に基づき、熟練した看護を行います。

なぜ、認知症看護認定看護師が必要なのでしょうか

急激な高齢化に伴い、認知症を患う方は増え続けています。当院の入院患者の約77%が65歳以上の高齢者です。

認知症の症状は、多種多様にあります。特に、治療中の歩き回りや暴言・暴力などの症状は対応が困難になります。そして事故防止のために抑制や薬に頼らざるを得ないことや対応に困った現場の看護師がストレスを抱えてしまうこともあり、患者様の生活やケアの質の低下が問題となっています。

対応に困る症状には患者様の思いが隠れている場合が多くあります。それらを導き出し、適切な対応をすることで症状の緩和を目指しています。

認知症看護認定看護師の役割

当院では毎月、認知症ケア委員会を開催し、医師や病棟看護師、事務職、薬剤師、作業療法士、医療ソーシャルワーカーなど様々な職種で構成されたメンバーで事例検討や勉強会を行い、認知症ケアの学びを深め、質の向上に取り組んでおります。

認知症高齢者ご本人の権利を守り、自分の言葉でうまく話せないことをお手伝いしながら、症状を悪化させる要因に働きかけ、生活のしづらさを予防・緩和しています。そして、認知症高齢者の方々が安全で安心できる療養環境を整えるための支援を行い、病気による影響を評価し、治療的援助を含む健康管理を行っています。

認知症や高齢者のことについて、ご心配やお困りのことはご遠慮なく、ご相談下さい。



認知症看護認定看護師 北原こゆき